

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	西巣鴨・学びの保育園
活動日時	令和6年 8月13日(火)
クラス名(年齢)	かりん組(2歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動テーマ

<テーマ>

自然の光と水

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

前は、自然と入ってくる光に興味を示していたため、今回は水に反射する光にも興味を示せるように水を用意した。

2. 活動スケジュール

水、玩具を使って遊ぶ。

たらいに3, 4人ずつ分かれて、遊ぶ。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

水、タライ、水風船(+玩具)





水風船を魚に見立てていた姿から、玩具を用意し、遊びのイメージを膨らませられるようにした。

4. 探求活動の実践

<活動内容>

水に反射する光にも興味をもてるよう、タライに入れた水を用意し、水風船を使って遊びを楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
<p>・「なんか海みたい」と水色のタライと水を見て海をイメージしていた。</p> <p>・「おさかな～」「泳いでみたい」と話して、水風船を魚に見立てて泳がせていた。</p> <p>・友だちの姿を見て、「おさかな、いっぱいにしたい」「水族館みたい」「水族館行ったことあるんだ」「みんなで行きたいねえ」と話が広がっていった。</p> <p>・「ぼくもやってみたい」、「ここにも光ってる」と、光への興味が広がっていった。</p>	   

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

子ども達の発言から、水風船の他にも玩具を用意すると、さらに遊びが広がり、イメージをもって遊んでいた。天井の電気から反射したことで、水風船が光っていることにも気づいていた。

水族館に行ったことのある子どもが魚の話をしたことで、他の子どもたちも興味を示していた。図鑑を保育室内に用意し、子どもたちの興味がさらに広がるようにしていく。